

中野区教育委員会会議録 平成21年第2回定例会

○開会日 平成21年1月16日(金)

○場 所 中野区教育委員会室

○開 会 午前 10時00分

○閉 会 午前 10時25分

○出席委員(5名)

中野区教育委員会委員長	高 木 明 郎
中野区教育委員会委員長職務代理	大 島 やよい
中野区教育委員会委員	飛鳥馬 健 次
中野区教育委員会委員	山 田 正 興
中野区教育委員会教育長	菅 野 泰 一

○欠席委員(0名)

○出席した事務局職員(3名)

教育委員会事務局次長	竹 内 沖 司	(欠席)
教育経営担当課長	小谷松 弘 市	
学校再編担当課長	青 山 敬一郎	(欠席)
学校教育担当課長	寺 嶋 誠一郎	
指導室長	入 野 貴美子	
生涯学習担当参事	教育委員会事務局次長兼務	
中央図書館長	倉 光 美穂子	(欠席)

○書記

教育経営分野	松 島 和 宏
教育経営分野	齋 藤 皓 一

○会議録署名委員

委員長	高 木 明 郎
委 員	大 島 やよい

○傍聴者数 4人

〔報告事項〕

(1) 委員長、委員、教育長報告事項

- ・ 1 / 1 0 中野区バレーボール協会新年会について
- ・ 1 / 1 1 中野区少年サッカー連盟「中野区教育長杯ニューイヤーカップ」について
- ・ 1 / 1 2 中野区成人のつどいについて
- ・ 1 / 1 5 東京都医師会学校医委員会について
- ・ 平成21年度当初予算編成について

(2) 事務局報告事項

(なし)

〔協議事項〕

(1) 平成21年度使用特別支援学級用図書(一般図書)の変更について

午前10時00分開会

高木委員長

おはようございます。

ただいまから、教育委員会第2回定例会を開会いたします。

本日、竹内次長、青山学校再編担当課長、倉光中央図書館長は、所用のため欠席でございます。

本日の会議録署名委員は、大島委員にお願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりです。

それでは、日程に入ります。

<報告事項>

高木委員長

本日は、議決案件はございませんので、初めに報告事項です。

<委員長、委員、教育長報告事項>

高木委員長

それでは、委員長、委員、教育長報告です。

まず私から。

1月12日午後、中野サンプラザホールで行われました「中野区成人のつどい」に参加してまいりました。当日、オープニングは、中央中の吹奏楽部の演奏で始まりまして、非常によかったです。中央中の生徒にとっても、大勢の観客の前でサンプラザの舞台に立つというのは非常によい経験になったなと思っております。区長さん、それから区議会議長さんの祝辞では、ちょっと残念だったのは、騒がしいというほどではなかったのですが、や

はりそこここに私語があつてちょっとどうかなど。最近、新聞とかですと、「成人式の七五三化」というのがありまして、本来ここで大人になるよという儀式のはずが、親が娘に晴れ着を着せたいとか、それ自体が悪いことではないのですが、何かちょっとセレモニー化してしまっているの、「いいのか」という論調があるようです。そこまではいかないと思うのですけれども、もうちょっと静かだとよかったなと思います。

あと、中野区の場合は、ことしは実行委員5人のうち3人が外国人留学生の方で、非常にインターナショナルな「成人のつどい」でございまして、特に韓国からの留学生の女の子は日本の晴れ着を着まして、そういう意味では、日本の文化を理解するという点でよかったのかなと思います。また、振り返りのビデオなども、そういうのは実行委員の人たちが工夫してつくったもので、なかなかできもよかったのだと思います。

最後に、バンドのAqua Timez（アクアタイムズ）というのがサプライズイベントということで出ました。NHKの紅白にも2回出たことがあるというバンドで、私も名前はどこかで聞いたことがあるのですが、余り真剣に見たことがないのですけれども、ミニライブということで曲を披露しまして、非常に盛り上がって終わったなというところでございます。

私からは以上です。

大島委員

今週は特にございません。

山田委員

昨日ですけれども、東京都医師会の学校医の委員会がありまして出席しました。その中で2点ほどです。

1点は、ことしの4月に「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」というものを文部科学省の外郭であります日本学校保健会というところで作成しまして、これが各学校に配られているのですけれども、要は、子どもたちの中でアレルギー疾患を有する子どもたちがふえているということに対して、どのようなアレルギーに対しての対策が学校で必要かどうかをドクターのきちんとした指示のもとでいただけてください、それを学校の中で共有されて、アレルギー疾患の対応をしてくださいという趣旨でございます。これの定着に向けて、昨年12月24日だったと思いますけれども、東京都教育委員会のほうで取り組みの定着に向けての話があったということのご報告がございました。実際には、地区の教育委員会のほうでどのように取り扱っていくかを決めてくださいということもありましたので、きょうの朝、学校教育担当課長ともいろいろ話をしました。

実際に学校の中で今ふえているのは、例えばアレルギー疾患ですと、ぜんそくのお子さんがふえているところですね。あとは、かなり救急を要する問題としては、食物アレルギーですね。例えば卵白をとったがために、アナフィラキシーというのですが、そういうショックが起きてしまったとかいう問題ですとか、あと、学年が上がるに従っては、食物ですと、

エビ・カニといったものがふえているということがありますので、そういったものに対してきちんとした取り組みをしてくださいということがございましたので、今後も、定着に向けて中野区としてどのようにするか、お話し合いをしたいと思っております。

もう1点は、何回もお話ししていますけれども、イリミネーションと言いまして、はしかを何とか日本の中からイリミネーションしましょうという運動がこの4月から始まっています。5年間の経過措置で、中学校1年生相当と高校3年生相当に、MRと言いまして、麻疹と風疹の予防接種が定められているのですが、9月の時点で3期、4期とも、東京都の接種率は、大阪と争って全国で最下位か後ろから2番目なのです。ということがございます。一つには、東京には私学が多いということもありますので、なかなか統計がとれていない現状もあるのですが、非常に定着していないということがありまして、中野区の教育委員会は、中学校の養護の先生にお願いして、たしか12月までの間の接種について今アンケート調査をしていると思います。3月31日までは、中学1年生、もしくは高校3年生については用紙が配られておりまして、無料で接種できるのです。それを受けませんと接種の機会がなくなるということと、実費ではかなり費用がかかるということ。もちろん、はしかというのは、いまだに命を落とす怖い伝染病であって、伝染率が高いということですので、それに向けてもう少し検討していかなければいけないということが東京都のほうからも報告がございました。中野区としても、3月まで少し時間がありますので、なるべく接種率を向上したいというふうに思っております。

私からは以上です。

飛鳥馬委員

特にありません。

教育長

今、区の中では来年度予算の最終的な調整を行っておりまして、細かいことになりましたけれども、いろいろと調整で忙しい、そんなような状況でございます。私からは、幾つか行事に出しておりますので、ご報告申し上げます。

1月10日ですが、中野区バレーボール協会の新年会のほうに出席させていただきました。それから、11日ですが、中野区教育長杯ニューイヤーカップという少年サッカー大会がありました。中野区にサッカーのクラブチームは幾つもあるわけですが、その中で特に優秀な、上手な子を選んで選抜チームというのをつくってしまして、これはトレセンというのですが、このトレセンの子を集めて、各区のトレセン対抗のような形で中野区が主催して今回行ったと。昨年から行っているわけですが、「教育長杯」という名前をつけているものですから、私のほうで賞状を授与したりしなければならぬので、そんなことで行っております。

今回は、練馬、豊島、杉並、荒川、中野、それから埼玉県の新座市のチームが出ておりまして、その中で優勝したのが荒川区でした。中野区は残念ながら4位でした。そんなこ

とで、上手な子なのですけれども。場所は妙正寺川運動施設ということで、中野区で唯一少年サッカーがちゃんとできるというようなグラウンドなのですけれども、天気もよく、大変盛り上がっておりました。

それから、1月12日は、私も「成人のつどい」に出席させていただきました。委員長からご報告があったとおりですけれども、最後のAqua Timez（アクアタイムズ）の演奏ですが、私、一番前にいたものですから、物すごい音量で一時的に難聴みたいになってしまいました。本当に迫力がございまして、大変盛り上がって、基本的には楽しかったという成人式でございました。

私からは以上です。

高木委員長

それでは、各委員からの報告につきまして何かご質問、ご発言はありますでしょうか。

大島委員

山田委員のご報告の「麻疹の接種率が東京は低い」ということなのですけれども、例えば、中野区全体で全部の公立の学校で接種するとかというふうにするとうんと上がるのではないかと前から内心思っていたのですが、そういうふうにはできないのでしょうか。

山田委員

委員ご発言のとおり、全国の中で、例えば茨城県とか非常に高い県があるのですけれども、そこでは学校の間を借りて集団接種をやっているということがございます。ただ、随分前に予防接種というのは集団接種でやっていたのですけれども、今、個別接種ということ国の方で打ち出しているのですね。ですので、個別接種が原則ではあるのですけれども、接種の機会の間を設けるという意味では、学校の間を借りて集団的に接種をすることができなくはないのですね。学校の方のご協力をいただかなければいけないのですけれども、場合によっては、来年度以降はそういったことも模索できないかなと。もちろん、医師会として学校医を推薦している立場からいけば、ドクターの協力が必要なので、そういった人材の確保はできなくはないと私自身は思っているのですが、今後、というのは、5年間をかけて何とか麻疹を日本から廃絶しようということでございますので、それに向けてやること。厚生労働省は「95%以上の接種率を確保しろ」と言っているのですね。95%というのはかなり高い率なのです。今、東京の現状が、9月現在でもまだ50%っていないような現状なので、それを95%に上げるというのはかなりハードルが高いのですけれども、そういったことも考えていかなければいけないのかなというふうには感じております。

大島委員

そうしますと、例えば中野なら中野での、教育委員会とか学校側から医師会とかそういうところに協力をお願いするというような働きかけがあればできるかもしれないということになるのでしょうか。

山田委員

そうですね。実務的には、どのような時点でどのような。場所は学校を借りられると思うのですけれども、中学1年生ということでございますので、そういった方たちのスケジュール的なこともありますね。あと、予防接種というのは時々副作用もありますので、その副反応についての対応もきちんと準備をしてやらなければいけないということになりますので、できなくはないので、ご協力というか、もしそういうご要請があれば一緒にやっていたらなというふうに思っております。

大島委員

教育委員会としても、その件はもう少し検討したいなというふうに個人的には思っております。

山田委員

実は、このお話があったときに、去年の3月、4月にかけて、医師会と教育委員会で多少お話し合いをしたことがあるのです。ただ、学校側の場の提供ということがなかなか難しかった経過もあって一応そのままになっているのですけれども、現状を踏まえると、麻疹を何とか廃絶しなければいけないということの大義名分のもとでは、そういったこともやらなければいけないのかなと思っております。

高木委員長

やはり、麻疹が広がって、学級閉鎖、学校閉鎖になりますと、学校の教育課程に大きな影響が出ますので、そこら辺を考慮すると、費用対効果といいますか、学校というのも、このまま接種率が伸びない場合はもう一度検討する必要があるのかなと思います。

私も今までこの話が出たときに、教育委員の立場でしか考えていなかったのですが、よく考えると、私どもの短期大学でもかなりリスクが高いのですね。実際に麻疹で休校とかになった大学がありますので、あれをやられると、夏休みがおくれたり、試験はどうするのかとか、非常にまずいのです。今個人的にちょっと思ったのは、ちょうど今、推薦とか一般入試で合格者が出ますので、高校三年生は無料ということであれば、大学や短期大学で入学の合格者に対してそれを案内できるのかなと、今ぱっと思いついたのですが。

それで、お聞きしたいのは、ちょっと不勉強で申しわけないのですが、高校3年生に在学していないとだめ？ それとも、18歳相当年齢であればいいのか、ちょっと教えていただきたいのですが。

山田委員

国が「中学校1年生相当」とか「高校3年生相当」でございまして、委員長がお話しされたように、別に高校に行っていなくても、その年代の方たちには区のほうから予防接種受診票というものが配られていますので、それをお持ちいただければ、3月31日については公費負担で無料で受けられるということになります。

委員長がお話しされたように、もし麻疹が一たび学内で出ますと、多くの場合に休校と

か。中野区でも、おとし、ある小学校で発生したときには、たしか12日間学校閉鎖をしているのです。もしそういうことが起きると、その後の学校のスケジュールがすべてずれ込んでしまいます。そのときもたしか移動教室が中止になったり、夏休みを少し短縮してやったということもありますので、そういったことを考えれば、予防こそ大切だろうと思います。ですから、接種の機会を多くするということが接種率を上げるということは大切なことではないかと思っています。

高木委員長

ちようどきようの午後、日短協の常任理事会がありますので、ちょっと試してみようかななどと。高校生ぐらいですと、中学、小学校のきょうだいがいる家庭も多いですから、日本全体で取り組んでいかないとだめですね。

山田委員

多くの医・歯・薬系の大学では、入学のときに予防接種の接種票を回収して、接種していない場合には、期限を決めてきちんと打って、その証明を出しなさいというところもありますし、ほかの大学でも、接種していない場合には接種してくれという勧奨をしている場合もございます。たしか、東京大学は麻疹についてはご自分のところで麻疹の予防接種を買われて打たれたというふうに聞いております。

高木委員長

ありがとうございます。

ほかにご質問、ご発言等ありますでしょうか。

質問がないようでしたら、事務局報告に移ります。

<事務局報告事項>

高木委員長

事務局からの報告はございますでしょうか。

<協議事項>

高木委員長

それでは、協議事項に移ります。

「平成21年度使用特別支援学級用教科用図書（一般図書）の変更について」、協議を進めます。

それでは、ご説明をお願いいたします。

指導室長

平成21年度に使用いたします特別支援学級用の教科用図書の変更について、ご協議をお願いしたいというふうに思います。

資料の2にございますとおり、使用できなくなった図書は理科と音楽でございます。既に8月に採択していただきました21年度使用の教科書のうち、この2冊について使用ができなくなったということで連絡がありましたので、それにかわります、1「新たに使用す

る図書」でございますが、2冊の採択のほうをお願いしたいということで、きょうはご協議をお願いしたいというふうに思っております。

上段の理科でございますが、小学校のほうが使用予定でございました。下段の音楽のほうは中学校のほうで使用予定でございました。そして、今回新しく理科として採択していただきます教科書につきましては、一応、図書館のほうから見本を持ってきておりますので、順次、見ていただければというふうに思います。いわゆる学校教育法附則第9条の規定による一般図書でございますので、教科書とは違うものでございますけれども、小学校のほうの特別支援学級で理科として使用するものでございます。

音楽のほうは、楽譜のようなものでございましたので、今回見本はございません。よろしくご協議のほどお願いしたいと思います。

高木委員長

それでは、ご質問、ご発言がありましたら、お願いいたします。

ちょっとお聞きしたいのですが、私の長男は動物とかが非常に好きでして、実はあのシリーズは買ってあるのです。内容的に非常にいいのですけれども、ちょっと大きくて重たいですね。従来のものと比べてどうなのですか。

指導室長

いわゆる一般図書を教科書に使っている特別支援学級がどのように扱っているかということでは、ランドセルに入れて毎回運ぶというのは大変困難なので、それぞれ名前を書きまして、学校のほうのロッカー等で保管して、授業に当たっては使用するというように使っております。すべての教科において一般図書を使っている場合は相当な重さと大きさを持っておりますので、そのような使い方をしている状況でございます。

高木委員長

内容的には、ちょっと細かいというか難しい部分もあるのですが、動物が好きなお子さんであれば、写真や図を見るだけでも結構楽しめる内容なので、私は、NEOシリーズは非常にいい図書だなと思っております。

大島委員

使用できなくなったものと今回選んだものは、その内容とかレベルなどがほぼ似たようなものというふうに理解してよろしいのでしょうか。

指導室長

どちらかという、今回のもののほうが理科の場合は内容が豊富かと思っておりますので、使おうと思っていたものの中身は包含されているというふうに思います。

さらに、先ほど供給不能のものを2校使っていたということでございますが、1校にしましては、もう既に採択をしていただいております「からだのなかとそと」という評論社の本を使うというふうな申し出が出てきております。そちらのほうは、中身を変えて、そちらのほうを使うということでございます。

音楽のほうは、この中学校の特別支援学級は、下でも見ていただいておりますように、ある意味、学習活動の中に合唱というもののウエートを特色として置いている中学校の特別支援学級でございます、中学校全体の合唱祭や何かにおきましても、特別支援学級が単独で参加するというので、このようなものを使用するというように聞いております。

高木委員長

よろしいでしょうか。

それでは、本件につきましては、次回開会される定例会で改めて議案として審議したいと思いますので、事務局は準備をお願いいたします。

以上で、本日の日程をすべて終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第2回定例会を閉じます。

午前10時25分閉会